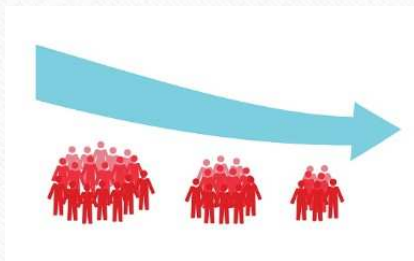


鹿角市公立保育所等再編計画 (素案)

次世代を担う子どもたちの健やかな育ちを促し、
将来にわたり持続可能で質の高い保育環境を整えるために
令和9年度～令和13年度

1. 背景



鹿角市こども計画において、公立保育所等の再編については少子化の進行を見据え検討を進めることとしていましたが、令和2年以降の入園者数の減少は想定以上に早まっており、公立施設においても定員割れが顕著となっています。

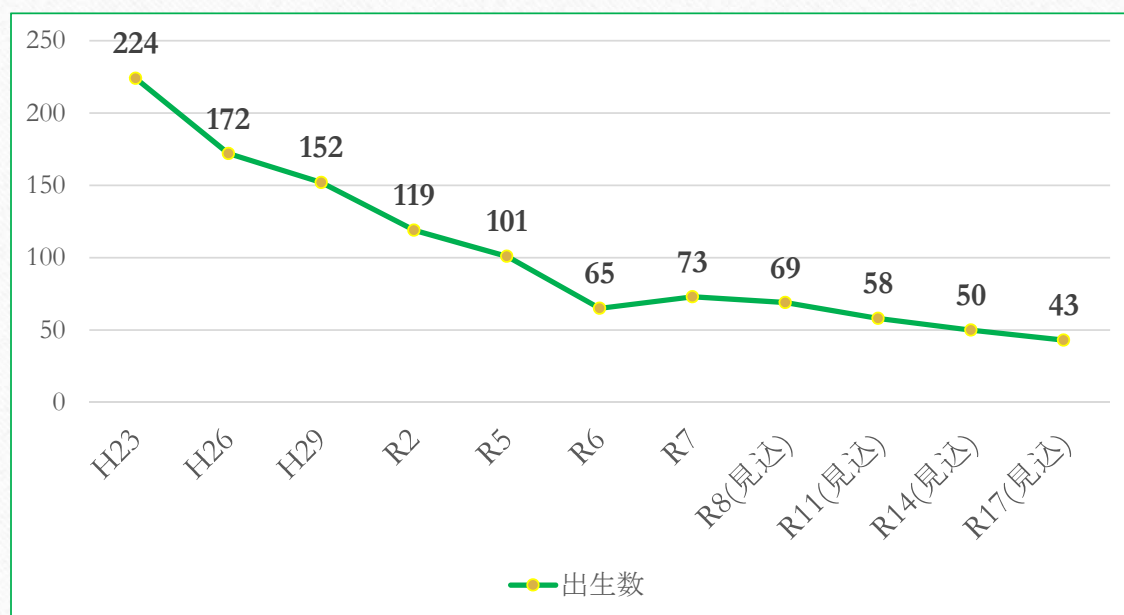
今後、現在の70人程度の出生数を維持していくものとしても、令和12年度の保育所等の認可定員に対する入所率は40%を下回る見込みです。

そのため、施設の適正な規模や配置等を考慮した施設管理の効率化を図り、持続可能な保育サービスの提供体制を整える必要があります。

2. 保育所等の現状

施設名			設置者	指定管理者	指定管理期間
特定教育・保育施設	認定こども園	八幡平なかよしセンター	鹿角市	社会福祉法人八幡平愛慈会	R 6 - R 1 5
		あおぞらこども園	鹿角市	公益財団法人鹿角市子ども未来事業団	R 6 - R 1 5
	幼稚園	カトリック幼稚園	(学)秋田カトリック学園	—	
	保育園	花輪さくら保育園	鹿角市	公益財団法人鹿角市子ども未来事業団	R 6 - R 1 5
		花輪にこにこ保育園	鹿角市	公益財団法人鹿角市子ども未来事業団	R 6 - R 1 5
		わんぱくはうす	(株)わんぱくはうす	—	
		毛馬内保育園	鹿角市	公益財団法人鹿角市子ども未来事業団	R 6 - R 1 5
		錦木保育園	鹿角市	公益財団法人鹿角市子ども未来事業団	R 6 - R 1 5
地域型保育施設	家庭的保育事業	ぴよっこえん	個人	—	
		ベビールームりんごの木	個人	—	
		くうねゆうベビールーム	個人	—	

3. 出生数の推移



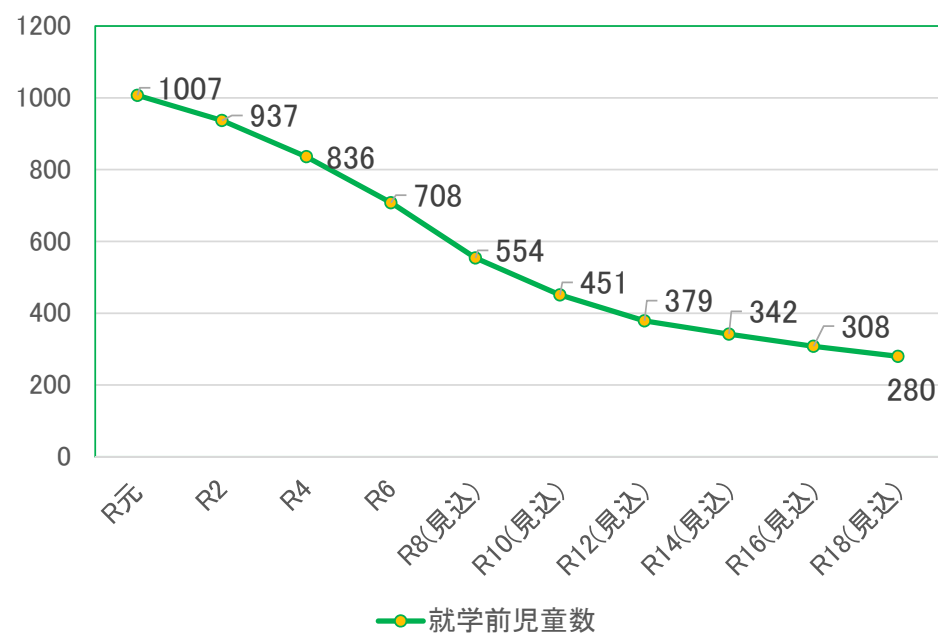
本市の出生数は平成23年度は224人でしたが、令和2年度には半数近くの119人まで減少しています。

以降、令和5年度までは緩やかな減少傾向にありましたが、令和6年度には65人と急激に減少し、令和7年度は73人と若干増加しているものの、今後も減少傾向を辿るものと推計されます。

※令和8年度以降の推計値は、教育委員会の「鹿角市新たな学校づくり推進計画(素案)」で用いている数値と同じ。

※H23からR7の出生数には出生後の転出入も含んでいます。

4. 現状と課題 ①急減する就学前児童数



令和元年度から令和8年度まで就学前児童数は453人減少しており、直近推計では令和18年度(10年後)には現在の約5割にまで減少する予測となっています。

4. 現状と課題 ②入園児童数と今後の見込み

入園児童数は近年の少子化の進行に伴い、減少を続けており、全ての施設が定員に達しない状況です。

施設名称	認可定員	利用定員	在籍数 見込 (R8)	入所率 (R8)	在籍数 見込 (R9)	在籍数 見込 (R10)	在籍数 見込 (R11)	在籍数 見込 (R12)	在籍数 見込 (R13)	在籍数 見込 (R14)
花輪さくら保育園	220	220	112	50.9%	107	101	95	87	81	75
花輪にこにこ保育園	150	150	96	64.0%	86	84	88	87	87	82
あおぞらこども園	95	95	63	66.3%	50	41	36	27	26	25
わんぱくはうす	130	80	80	61.5%	78	69	64	55	56	53
八幡平なかよしセンター	100	95	47	47.0%	36	29	19	17	15	14
毛馬内保育園	130	130	77	59.2%	69	63	61	50	47	43
錦木保育園	80	80	43	53.8%	37	33	29	26	24	22
カトリック幼稚園	80	20	23	28.8%	20	20	20	20	20	20
家庭的保育施設	15	15	8	53.3%	8	8	9	7	6	5
合計	1000	885	549	54.9%	491	448	421	376	362	339

4. 現状と課題 ③入園児童数減少がもたらす課題

R8入所率
54.9%

認可定員合計: 1,000人
利用児童数: 549人



R13入所率
36.2%

認可定員合計: 1,000人
利用児童数: 362人

【適正な集団規模の確保が困難】

認可定員に対し、利用児童数が半分以下となり、集団保育の効果(多様な関わり、社会性の向上)を最大化しづらい環境が懸念されます。

【施設の維持管理の効率の悪化】

人口減少に伴う自主財源減少の中で、老朽化した公立施設の修繕・維持コスト、運営費の増大が財政面での大きな課題となります。

4. 現状と課題 ④施設の老朽化

公立の6施設の平均築年数は約22年で、空調設備等の修繕を毎年実施していることから、今後も継続的な維持修繕の発生が見込まれます。

施設名	認可定員	利用定員	建築年	延床面積(m ²)	構造
花輪さくら保育園	220	220	H15	2,809	鉄筋コンクリート造
花輪にこにこ保育園	150	150	H21	1,749	鉄骨造
毛馬内保育園	130	130	H11	1,758	鉄骨造
錦木保育園	80	80	H4	750	鉄筋コンクリート造
八幡平なかよしセンター	100	95	H17	1,812	鉄筋コンクリート造
あおぞらこども園	95	95	H27	1,105	木造

5. 再編計画策定にあたっての基本的な考え方

①保護者・児童の利便性の考慮

通勤途上にあることの利便性、通園の長距離化による幼児等への負担を考慮し、集約する保育園は地域による偏在が生じないよう配慮します。

最終的な保育所等の配置は、北部、南部、中央部それぞれに1か所ずつを想定します。

②民間活力の有効活用

再編にあたっては、民間活力（私立保育所等の多様なニーズに対応する柔軟性や特色ある保育プログラムを展開する独自性、物的資源など）の活用により、相互に連携・協力し合える体制を構築し、持続可能な保育サービスの提供に努めます。

③適正な集団規模の保育

子どもたちの健やかな成長には、同世代の友達と遊びや学びを共有し、多様な人間関係の中で社会性や協調性を育む「集団環境」が必要です。本計画では、近年の少子化に伴う児童数の減少に対応し、一定の集団規模を維持確保することで、子どもたちが生き生きと活動できる充実した保育環境を整えます。

5. 再編計画策定にあたっての基本的な考え方

④保育の質の確保と充実

施設を再編し、保育士等のマンパワーを集約することで、障がい児や医療的ケア児の受入れ体制の確保等により、保育を必要とする家庭が安心して利用できる環境を整えます。

⑤放課後児童クラブのあり方も踏まえた再編

放課後児童クラブの一部施設の老朽化が進んでいることから、今年度教育委員会で策定する新しい学校づくり推進計画を踏まえた放課後児童クラブの再編にあたって、公立保育所等の児童クラブへの転用も見据え、公立保育所等の再編を検討します。



6. 再編計画案【南部・中央部】

南部の拠点を民営のわんぱくはうすと位置づけ、中央部の拠点を花輪にこにこ保育園と位置付けます。

【在籍児童数の見込み】

		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
八幡平なかよしセンター	利用定員	95	95	95				
	児童数	47	36	29				
花輪さくら保育園	利用定員	220	220	220				
	児童数	112	107	101				
花輪にこにこ保育園	利用定員	150	150	150	150	150	150	150
	児童数	96	86	84	134	128	126	144
あおぞらこども園	利用定員	95	95	95	95	95	95	
	児童数	63	50	41	36	27	26	
わんぱくはうす	利用定員	80	80	80	130	130	130	130
	児童数	80	78	69	132	118	113	105

・八幡平なかよしセンターは、令和11年度には児童福祉法で定められた保育園の定員20人以上を下回る見込みであるため、令和10年度末で閉園し、わんぱくはうすでの受け入れを想定します。

・花輪さくら保育園は、令和10年度末で閉園し、尾去沢小学校と花輪小学校の統合後の児童クラブ施設に改修します。

・わんぱくはうすは、花輪さくら保育園の閉園に伴い、令和11年度から利用定員を認可定員の上限まで引き上げを予定しています。

・花輪にこにこ保育園は、定員が多いため、中央部の拠点として運営を継続します。多様な保育ニーズに対応するため、「あおぞらこども園」の閉園後に「認定こども園」へ移行します。

・あおぞらこども園は、花輪にこにこ保育園での受入が可能となる段階で閉園するものとし、令和13年度末での閉園を予定します。

6. 再編計画案【北部】

北部の拠点は、「毛馬内保育園」と位置付けます。

【在籍児童数の見込み】

		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
毛馬内保育園	利用定員	130	130	130	130	130	130	130
	児童数	77	69	63	90	76	71	65
錦木保育園	利用定員	80	80	80				
	児童数	43	37	33				

- ・毛馬内保育園の利用定員内で錦木保育園の入園児を受け入れできる。
- ・毛馬内保育園は、LED改修済み

3園の位置図



7. 再編スケジュール及び施設の活用について

令和14年度で最終的に3園となることから、再編計画の計画期間は令和9年度から令和13年度までとします。

施設名	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
花輪さくら保育園				閉園	児童クラブとして活用		
花輪にこにこ保育園							
あおぞらこども園						閉園	児童クラブとして活用
毛馬内保育園							
錦木保育園				閉園			
八幡平なかよしセンター				閉園			

花輪さくら保育園閉園後の園舎については、花輪小学校の児童クラブとして転用することとし、令和11年度に改修工事を行い、施設の準備が整い次第、花輪児童クラブとして受入れしていくことを検討しています。

同じく、あおぞらこども園閉園後の園舎についても、柴平小学校内に児童クラブを移転できない場合は、柴平小学校の児童クラブとして転用することとし、令和14年度に改修工事を行い、準備が整い次第、柴平児童クラブとして受入れしていくことを検討しています。

8. 今後のスケジュール

時期	予定
8月	市議会に「公立保育所等再編計画」(素案)を説明
9月	保護者説明会開催
10月	鹿角市子ども・子育て会議で素案を説明
～12月	市議会に再編計画(案)を説明
12月～1月	パブリックコメントの実施
3月	「公立保育所等再編計画」を決定